

「市長記者会見」の概要

■日時 令和8年8月24日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 応接会議室・庁議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、新建新聞、日本工業経済新聞、長野市民新聞

■内容（プレスリリース）

- 1 産学官が連携した展示会『ものづくりフェア千曲 2026』を開催
- 2 「マレットゴルフ^{あづき}杏月杯 2026」を開催
- 3 令和8年第5回（9月）千曲市議会定例会の日程及び提出議案

■プレスリリース・質疑応答

○産学官が連携した展示会『ものづくりフェア千曲 2026』を開催

問 5日に屋代高校と市内の製造業との共同研究に関する発表があると伺っていますが、具体的にどのような内容の研究かわかりますか。

回答 一つは、市内企業の「XAC」さんです。こちらでは3Dプリンターを活用した取り組みを行っており、その技術を使って共同で取り組む予定ですが、具体的にどのような内容かはまだ伺っておりません。もう一つは、「高村商店」さんとの連携で、味噌などの発酵食品を使ったスイーツ作りに取り組み、試食などを実施する予定とお聞きしています。

○「マレットゴルフ^{あづき}杏月杯 2026」を開催

問 企画の趣旨やターゲット層についてですが、今回の企画は特定のターゲット層を想定して立てられたという理解でよろしいでしょうか。

回答 ターゲットは、温泉むすめの戸倉上山田 杏月さんのファンを中心にしています。杏月さんのプロフィールにはマレットゴルフが特技と記載されており、市の大田原マレットパークの利用促進も視野に入れています。そこで、主にファンの皆様を対象にマレットゴルフ大会を企画し、マレットゴルフの裾野を広げたいと考えています。もちろん、ファン以外の方も大歓迎です。この企画は、交流促進と利用促進の両方を目的としています。

問 特技にマレットゴルフが組み込まれているのか気になりましたが、このようなイベントを見込んで、そのような設定にしたということでしょうか

回答 市の担当者と先方の会社、さらに観光局も交えてミーティングを重ねる中で、市の特色を効果的に伝えられるキャラクター作りが進められました。その中で、マレットゴルフも広く親しまれており、多くのゴルフ場があることから、マレットゴルフの普及とさらなる促進も副次的な狙いとして設定されたと聞いています。

問 お披露目のときの参加者の内訳について、県外からの参加者はどの程度の割合を占めていたかわかりますか。

回答 3分の2程度です。

問 特典としてオリジナルグッズがあるとのことですが、こちらは既にどこかで販売されているものか、それとも今回のイベントでしか手に入らないものなのでしょうか。

回答 新しいグッズを制作する予定で、既に販売されているものではありません。デザインも含めてこれから検討していく段階です。

問 チラシはありますか。

回答 チラシはありません。

問 今回のマレットゴルフ杏月杯の告知は、市のホームページで行われると思いますが、それ以外に例えば温泉むすめさんのホームページや他の媒体でもPRされる予定はありますか。

回答 今のところ市のホームページと SNS の予定です。

問 申し込みを希望される場合は、長野電子申請でよろしいでしょうか。また、参加費は1,500円で、その中に蕎麦代も含まれているということでしょうか。

回答 そのとおりです。

○令和8年第5回（9月）千曲市議会定例会の日程及び提出議案

問 報告第12号には財政に関する内容がありますが、こちらの数字が示す意味や現状の状況、そして今後の見通しについて、簡単にご説明いただけますでしょうか。

回答 健全化判断比率についてですが、実質公債比率は11.8%で、これは過去3年間の平均値です。昨年度の数値は11.3%でしたが、先ほど申し上げたように、やや悪化した状況です。なお、この比率が18%を超えた場合は、国の許可がなければ新たな起債を行うこと

ができなくなります。将来負担比率についてですが、下部に示されている早期健全化の基準が350%となっています。現状を見ると、これまでの償還は順調に進んできていると言えます。ただし、今後大型事業なども控えていることから、将来負担比率はやや増加する可能性があると考えています。

問 将来負担比率も増加していく見込みであれば、実質公債費比率も今後多少上がってくると考えられますが、それが18%を超えないように、どのように抑えていくという想定でお考えでしょうか。

回答 実質公債費比率が18%に達すると、自由に借入を行うことができなくなります。そのため、現在進めている事業や今後見込まれる事業の償還計画も含めて、バランスを取りながら進めていく必要があると考えております。

問 消防団のポンプ自動車購入の契約日と納車式について教えてください。

回答 契約日は7月30日です。ポンプ自動車の製作にはかなりの時間がかかりますが、完成後は例年通り納車式も行う予定で考えております。

■市政全般について・質疑応答

○あんず振興、棚田保全について

問 あんずと棚田は構造的に似たような課題を抱えていると思いますが、現状、国、県や農協との連携状況や、今後の展望や計画があれば教えていただきたいと思います。

回答 あんずにつきましては、地域振興局が「ながの果物語り」というテーマで、特産果物の振興に数年前から取り組んでいます。その一環として、千曲市では中心的な作物である「あんず」の魅力向上を目的としたセミナーを開催しました。市、JA、そして地元の農家と連携し、こうした取り組みを進めています。また、東京の学生有志の皆さんが、インターネットで千曲市のあんずに関心を持ち、今年から地元農家と連携して研究活動を行っていることも承知しています。

棚田につきましては、今年度から市長直轄で特別対策チームを設置しました。庁内の調整を行いながら、県や国とも連携し、担い手の確保や棚田の魅力発信に取り組むための会議を進めています。対策チームのメンバーは先進地の視察も実施し、その成果を千曲市に持ち帰って活かすべく議論を重ねる予定です。

○熊の出没について

問 森地区で熊の出没が連日続いており、23日にも目撃があったと伺っています。熊の出

没に関して、現在実施されている対策について教えていただけますか。

回答 連日の熊出没等については、市のホームページや各種 SNS で情報発信を行っているところですが、市内ではマニュアルを整備し、それに基づいて対応しています。課題としては、駆除の担い手が不足していることがあります。市民の方々は、ハンターがチームを組んで山を囲むような駆除を想像されているかもしれませんが、実際には危険を伴うためそのような方法は難しく、人材の確保も困難です。また、熊の居場所が特定できない状態で探すのは非常に困難なため、通常は罠を設置し、罠にかかったクマを殺処分する方法をとらざるを得ない状況です。被害のあった周辺には罠を設置して警戒にあたっています。今後の対策について、様々なご意見をいただいておりますが、現状のやり方で対応せざるを得ないことを市民の皆様にご理解いただきたいと思います。市としては、引き続きできる限りの最善を尽くしてまいります。

○まちづくりアカデミーアドバイザーについて

問 まちづくりアカデミーのアドバイザーについてですが、どのような仕組みで委嘱されるのか教えていただけますか。

回答 千曲市では、外部の有識者から市政の課題について助言をいただく「まちづくりアカデミー」という制度があります。このたび、新たに気象予報士の鈴木智恵さんをまちづくりアカデミーアドバイザーとして委嘱する予定です。委嘱は明日行われる予定です。鈴木さんはテレビの気象情報コーナーも担当されており、長野県内の気象に詳しい方です。日頃から気象予報士として研鑽を積まれており、先日、市の環境課主催の気候変動の研修会の講師として、市民の皆様に向けて講演をしていただきました。その際、鈴木さんの豊富な知見を生かし、さまざまな分野でアドバイスをいただきたいをお願いをしたところ、ご快諾いただき今回の委嘱に至りました。

問 現在、どのような分野の方に委嘱されているのか教えていただけますか。

回答 中島恵理さんですが、県の副知事を務められた経験があり、現在は同志社大学の教授として活躍されています。環境問題はもちろん、女性の活躍推進や県の副知事時代に担当されたさまざまな行政分野にも精通しており、その豊富な知識と経験を踏まえてご相談させていただいています。千曲市では中島さんの公開講座をきっかけに、「クラスルーム」という団体が誕生しました。これは中島さんのアドバイスを基に始まったものです。市内では女性活躍支援の団体も活動を開始しています。また、山田桂一郎さんは観光庁の「観光カリスマ」に認定されている方で、全国の自治体や大学のアドバイザーや非常勤講師を務めています。山田さんには主に観光振興や地域経済、地域振興全般についてアドバイスをいただいております。現在策定中の観光振興計画や第4次千曲市総合計画について、各委員も務めていただいております。より充実した計画の

ためにお力をお借りしているところです。さらに、泉虎吉さんは東京で活躍されている伝統工芸の職人で、まちづくり委員にも携わられています。稲荷山の町並みを生かした地域振興のまちづくりについてアイデアの提供をお願いしています。泉さんはお若い方ですが豊富な経験をお持ちでありますので、アドバイスをいただきながら進めている段階です。現在はこの3名に加え、新たに鈴木智恵さんを迎え、4名体制で取り組んでいます。

問 委嘱される分野は決まっていないのでしょうか。

回答 鈴木さんには、気象や環境問題に関する市民向け講座のほか、防災士の資格を活かした女性の視点による災害対策等の助言をお願いしています。また、国の気象防災アドバイザーの制度活用についても以前から検討しており、鈴木さんはそのアドバイザーの一人であったことから、今回の委嘱に至りました。委嘱する分野についてですが、現状で手薄な分野や、より関心が高まっている領域を見極めたうえで、「この方にこの分野を担当していただきたい」という形で委嘱を行っています。

○千曲市総合防災訓練について

問 総合防災訓練の時期が近づいてまいりました。最近は、水害が多く発生している状況がありますが、水害に対する取組について、現在どのように考えていますか。

回答 常に地震と水害の両方を想定した訓練を実施しております。地震対策だけでなく、土嚢を積むといった水害対策の体験訓練も行っており、数年前から複合的な災害として地震と水害に同時に対応する取組を進めています。

終了 午後2時22分